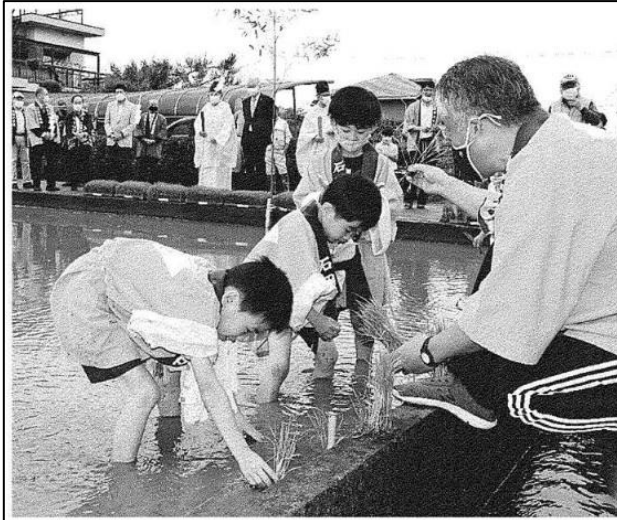


年 組 名前:



神事後、水田に酒米を植える子どもたち—甲府市内

甲府市石田地区の住民らでつくる「石田お俵連」(梅原香会長)は14日、地区内の水田で、酒米を植える「お田植



山本久美子
斉藤 裕介
(055)231-3111
FAX 231-3161

明治神宮奉納へ 酒米の苗植え

石田地区住民ら

祭りを開いた。お俵連によると、石田地区の米は明治天皇即位に伴う「大嘗祭」(1871年)で、千葉県鴨川市の米と一緒に奉納された歴史がある。石田地区は鎮座100年となった2020年の新嘗祭を前に、明治神宮から御神酒と稲穂の奉納を依頼された。これがきっかけとなって19年にお田植祭が始まり、今年で4回目。14日にはお俵連メンバーが水田の前で神事を行った後、地区の子ども約20人がはだしで水田に入り、歓声を上げながら酒米の苗を植えた。秋に収穫した米で作った酒と稲穂は明治神宮に奉納するという。石田小4年の長田絆杜君は「手で苗を植えるのは意外と難しかったが、楽しかった」と感想。梅原会長は「お田植祭は子どもの思い出になる。地域の歴史を伝えるためにも続けていきたい」と話していた。

(2022年5月19日付 山梨日日新聞 17面)

問1

甲府市石田地区で、酒米を植える祭りの名前は、なんとおっしゃいますか。

.....

問2

今回苗植えし、秋に収穫するお米は、どのような使い道をしますか。

.....

問3

梅原会長は、どのような思いで「お田植祭」を開きましたか。

.....